

第 57 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事メモ

日 時：令和 2 年 10 月 22 日(木) 15:35～16:00

場 所：県庁 6 階 第 2 特別会議室

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、
金城 知事公室長、池田総務部長、宮城企画部長、長濱 環境部参事、
新木 県警本部警備第 2 課長、名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、
長嶺 農林水産部長、嘉数 商工労働部長、下地 観光政策統括監、上原土木建築部長、
伊川 会計管理者、金城教育長、大城 病院事業統括監、棚原 企業局長、
系数 保健衛生統括監、真栄城 医療企画統括監

2 報告事項

- (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について
- (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について
- (3) 沖縄県内及び全国の感染状況について
- (4) 集団感染疑い事例について

- 市中感染が広がっている状況が続いており、本日公表の新規感染者については 38 名。そのうち宮古島地域は 7 名、八重山地域は 3 名という状況となっている。
- 時間の都合上、報告事項(1)～(4)については、細かい説明を省略し、資料配布のみで報告に代えた。

<主な意見>

- 商工労働部から、具志川職業能力訓練校の教員 1 名に感染者が発生した事について、報告があった。保健所の調査によると、同訓練校の生徒は濃厚接触者にあたらぬ、とのことであった。また、訓練校の消毒も済んでいる。
- 感染防止対策の周知徹底等のため広報は引き続き重要だが、今後どのような広報を展開していくか質問があった。
- ✓ 保健医療部から、今後は参考事例として、学生によるカラオケ・ボーリングでの感染拡大、高齢者施設での感染事例等を検討していると報告があった。

3 その他

- 総括情報部から、沖縄県議会議員 1 名が、新型コロナウイルス感染症陽性者として確定した事について、説明があった。
- 県議会事務局等からの情報によると、沖縄県議会自民党会派のうち 18 人が、10 月 18 日から 21 日の日程で、宮古及び八重山地域に視察調査を行った。帰任後、視察に参加した議員 1 名が体調不良となり、今朝、検査した結果、陽性であった。
- 自民党会派視察団は、与那国町、石垣市、宮古島市を訪問し、自衛隊駐屯地や海上保安庁、各市町長等を訪問し、意見交換を行った。
- 自民党会派視察団の視察訪問先について、訪問先市町の首長及び各訪問先関係機関に注意喚起等と呼びかけるため、既に連絡したことについて報告があった。
 - ✓ 各訪問先においては、それぞれ感染予防策を講じていたとの情報があるが、保健所の調査に協力するよう依頼したところである。
- 自民党会派視察団以外の濃厚接触者に対しては、管轄保健所が調査に基づき判断し、連絡することとなっている。
 - ✓ 議会事務局職員について、濃厚接触者に該当する職員はいないことが確認されている。
 - ✓ 県議会棟の消毒については、総務部が助言して実行することとなっている。
- 管轄の保健所が聞き取り調査を進めているが、視察訪問に参加した議員は全員、濃厚接触者に該当するため、PCR 検査を実施する。
 - ✓ 視察調査に参加した他の 17 名の議員は濃厚接触者に該当するため、検査結果に関わらず最終接触日(10/21)から 2 週間の外出自粛と健康観察を要請することとなる。
 - ✓ 視察調査に参加した議員のうち、宮古島在住の議員以外は、本日中に県議会棟内において、唾液の検体採取を行う。明日以降、検査結果が判明する。

<主な意見>

- 商工労働部から、具志川職業能力訓練校の教員1名に感染者が発生した事について、報告があった。保健所の調査によると、同訓練校の生徒は濃厚接触者にあたらない、とのことであった。また、訓練校の消毒も済んでいる。
- 総務部から、市中感染が広がっていて、誰でも感染しうる現状であることを踏まえ、感染した議員が非難の対象とならないよう、配慮する必要があるとの発言があった。
- 富川副知事から、県議会で発生した事例ではあるが、県職員としても気を引き締める必要がある、との発言があった。
- 知事から、我々も足下を見直す必要があり、会合など感染リスクのある場面における相互チェックを行う必要があることや、全職員がCOCOAやLINEアプリRICCAを活用するよう、呼びかけがあった。

4 閉 会

この後、知事が記者発表することを確認し、閉会とした。